

授 業 科 目	運動学実習		
教 育 内 容	専門基礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達	
担 当 教 員	塩田 琴美		
学 年	2	単 位 数	1
開 講 時 期	前期	時 間 数	実習 45 時間

■ 授 業 概 要	
関節可動域検査（Renge of Motiom Test:ROM-T）および徒手筋力検査（Manual Muscle Testing:MMT）の検査に必要な解剖学・運動学的視点を理解しながら、検査測定の手順に従い実習を行う。	
■ 到 達 目 標	
1) ROM-T と MMT について説明できる 2) ROM-T と MMT の評価の目的や留意点を理解し、各評価の実施と評価結果を解釈できる。	
■ 授 業 内 容	
第 1・2 回	ガイダンス、ROM-T の概要
第 3・4 回	肩関節・肩甲帯の ROM-T
第 5・6 回	肘関節・手関節・手指の ROM-T
第 7・8 回	股関節・膝関節 ROM-T
第 9・10 回	足関節・足指の ROM-T
第 11・12 回	頸部・体幹の ROM-T、ケーススタディ
第 13・14 回	徒手筋力検査の測定方法、上肢筋の MMT
第 15・16 回	上肢筋の MMT
第 17・18 回	下肢筋の MMT
第 19・20 回	下肢筋の MMT
第 21・22 回	頸部・体幹の MMT
第 23・24 回	ケーススタディ、筆記試験・実技試験・試験問題解説
■ 評 価 方 法	
試験と平常点での評価を総合して行う。平常点は実習に対する姿勢・態度を評価対象とする。 試験 100%	
■ 教 科 書	
「新・徒手筋力検査法（第 9 版）」L.Daniels/C.Worthingham 著（共同医書出版社） その他、必要に応じて資料を配布する。	
■ 留意事項・その他	